

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		工業 建築構造設計		単位数	2
対象学年・組		2学年建築科	教科担任	AA:後藤・深澤 AB:深澤・米原	
教科書・副教材		建築構造設計 必携建築資料			
1. 目標 構造力学に関する基本事項を通して、構造上安全な骨組みのあり方・部材の設計に関する基本的な計算・設計ができる能力を育成させること。 授業は習熟度別とし、理解力や計算力に応じた個別指導を可能とする。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	反力の求め方, 単純梁の応力の求め方	単純梁の部材に生ずる力について、応力図が描ける。 釣り合いの方程式を用いて応力を求めることができる。		
	5	反力の求め方, 単純梁の応力の求め方	単純梁の部材に生ずる力について、応力図が描ける。 釣り合いの方程式を用いて応力を求めることができる。		6
	6	片持ち梁の応力の求め方	片持ち梁の部材に生ずる力について、応力図が描ける。 釣り合いの方程式を用いて応力を求めることができる。		8
	7	片持ち梁の応力の求め方	片持ち梁の部材に生ずる力について、応力図が描ける。 釣り合いの方程式を用いて応力を求めることができる。		4
	1学期授業時数計				18
2 学 期	9	静定ラーメンの応力の求め方	静定ラーメンの部材に生ずる力について、応力図が描ける。 釣り合いの方程式を用いて応力を求めることができる。		8
	10	静定トラスの部材に生じる力	静定トラスの部材に生ずる力について、図式解放と算式解放(節点法・切断法)で求めることができること。		8
	11	静定トラスの部材に生じる力	静定トラスの部材に生ずる力について、図式解放と算式解放(節点法・切断法)で求めることができること。		6
	12	部材の性質と応力度	部材に生じる力の種類に応じて、部材断面の単位面積あたりの力、垂直応力度、せん断応力度および曲げ応力度を求めて、部材の強さを理解できること。		6
	2学期授業時数計				28
3 学 期	1	部材の性質と応力度	部材に生じる力の種類に応じて、部材断面の単位面積あたりの力、垂直応力度、せん断応力度および曲げ応力度を求めて、部材の強さを理解できること。		6
	2	部材の性質と応力度	部材に生じる力の種類に応じて、部材断面の単位面積あたりの力、垂直応力度、せん断応力度および曲げ応力度を求めて、部材の強さを理解できること。		8
	3	部材の性質と応力度	部材に生じる力の種類に応じて、部材断面の単位面積あたりの力、垂直応力度、せん断応力度および曲げ応力度を求めて、部材の強さを理解できること。		4
	3学期授業時数計				18
年間授業時数合計					64
3. 評価の観点・方法 定期考査, 授業態度, 提出物等を総合的に判断する。					